

平成28年度版

NEW CROWN

学習活動の重点化等に資する 年間指導計画参考資料

【中学3年】

この資料は、生徒の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動」と「学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から単元ごとの配当時数、主な学習活動などをご提案するものです。地域や学校の状況に応じてご活用ください。

三省堂

令和2年6月版

指導内容一覧 3年

月	箇所		この課のねらい	●題材【領域】と題材のねらい ◆場面 ▲はたらき	言語材料 (1)	言語材料 (2)	言語活動					配当 時間	学校の授業以外の場での学習が可能で あると考えられる教材・学習活動
	レッスン	タイトル			文構造・文法事項 (☆サブ) / 表現	語彙・音声	パート	L	S	R	W		
4	L1	My Favorite Words	●関心・意欲・態度：ことばの持つ力について関心を高めることができる。 ●言語・文化：受け身形を理解し、使うことができる。(復習) ●読むこと (USE Read)：好きなことばについての意見文を読むことができる。 ●話すこと (USE Speak 発表)：好きなことばについてスピーチをすることができる。	●ことばの持つ力 [ことば] ・ことわざや名言、標語などについて関心を高める。 ・ことばの持つ力について知る。 ・自分の好きなことばについて考える。	[GET] 受け身形 (復習)	[Word Bank] 不規則変化の動詞	GET USE Read USE Speak	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	2 1 1	◆ p.6, p.8の本文は、新出語句の意味を調べ 本文の概要を把握する。【本文訳は後日配布】 ◆ p.6のDrill, p.7の1 Listenは、音声を聞きながら、2年の既習事項を振り返る。【要音源】 ◆ p.7の2 Speak, 3 Writeは【例】を参照しながら、2年の既習事項を振り返る。 ◆ p.9の2と4は【例文】の音読練習に替える。 [4時間]
	LT1	道案内をしよう	ていねいに道をたずねたり、道順を説明したりする道案内の会話をする事ができる。	◆道案内 ▲道順をたずねる・説明する・呼びかける・くり返す	Could you tell me how to get to ~?	—	—	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	1	◆ p.10の本文は、新出語句の意味を調べ 本文の概要を把握する。【本文訳は後日配布】 ◆ p.10のExercise 1, 2は、どのような対話になるかを、例にならって書く。【要対話例】 [1時間]
5	L2	France - Then and Now	●関心・意欲・態度：外国と日本の文化交流について知ることができる。 ●言語・文化：現在完了形 (継続用法) を理解し、使うことができる。 ●読むこと (USE Read)：フランスと日本の文化交流についての説明文を読むことができる。 ●書くこと (USE Write)：ボランティアに応募するための自己紹介カードを書くことができる。	●日本とフランスの文化交流 [異文化] ・フランスについて関心を高める。 ・外国と日本の文化交流について知る。 ・日本に定着した外国文化について考える。	[GET] Part 1: 現在完了形 (継続用法) (肯定文) Part 2: 現在完了形 (継続用法) (疑問文・応答文). How long ~? ☆疑問詞 (where, how など) + to ~	[Word Bank] Part 1: 期間を表すことば Part 2: 趣味・習い事 [Sounds] 2文字母音字	GET USE Read USE Write	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	4 2 2 1	◆ p.20の文法のみとは、解説を参照しながら、Lesson 2の既習事項を振り返る。 ◆ p.20のSoundsは、音声を聞きながら、提示された語のつづりと発音のルールについて考える。【要音源】 [1時間]
	LL1	動物園のアナウンス	動物園のアナウンスを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。	◆アナウンス	—	—	—	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	1	◆ p.21のListeningは、音声を聞きながら、取り組む【要音源】 ◆ p.21のSoundsは、音声を聞きながら、取り組む。【要音源】 [1時間]
	LT2	どうかしましたか	病状についてたずねたり、説明したりする会話をする事ができる。	◆日常生活 ▲病状をたずねる・説明する・提案する・お礼を言う	What's wrong?	—	—	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	1	◆ p.22の本文は、新出語句の意味を調べ 本文の概要を把握する。【本文訳は後日配布】 ◆ p.22のExercise 1, 2は、どのような対話になるかを、例にならって書く。【要対話例】 [1時間]
6	L3	Rakugo Goes Overseas	●関心・意欲・態度：日本の伝統文化およびそれを世界に発信することに関心を持つことができる。 ●言語・文化：現在完了形 (経験用法・完了用法) を理解し、使うことができる。 ●読むこと (USE Read)：意見文 (インタビュー) を読んで、その内容を読み取ることができる。 ●話すこと (USE Speak 会話)：詳しい説明を求めたりして、会話を広げることができる。	●日本の伝統文化の発信 [伝統文化] ・日本の伝統文化およびそれを世界に発信することに関心を高める。 ・日本の笑いの伝統文化について知る。 ・世界に発信したい日本の文化について考える。	[GET] Part 1: 現在完了形 (完了用法) Part 2: 現在完了形 (経験用法) ☆不定詞 (be glad to ~ など) Review: 時制	[Word Bank] Part 1: 現在完了形の文でよく使われることば Part 2: 場所・自然 [Sounds] 子音の聴解困難音	GET USE Read USE Speak	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	4 2 1 1	◆ p.32の文法のみとは、解説を参照しながら、Lesson 3の既習事項を振り返る。 ◆ p.32のSoundsは、音声を聞きながら、取り組む。【要音源】 ◆ p.33のReviewは、解説を参照しながら、既習事項を振り返る。 [1時間]
	P1	先生にインタビューをしよう	先生にインタビューをし、プロフィール表を書くことができる。	◆インタビュー	—	—	—	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	2	◆ p.36のListeningは、音声を聞きながら、取り組む【要音源】 ◆ p.36のSoundsは、音声を聞きながら、取り組む。【要音源】 [1時間]
	LL2	英語落語 [時そば]	英語落語を聞いて、話の全体的な内容を読み取ることができる。	◆落語	—	[Sounds] 音声表情	—	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	1	◆ p.36のListeningは、音声を聞きながら、取り組む【要音源】 ◆ p.36のSoundsは、音声を聞きながら、取り組む。【要音源】 [1時間]

指導内容一覧 3年

月	箇 所		この課のねらい	●題材【領域】と題材のねらい ◆場面 ▲はたらき	言語材料 (1)		言語材料 (2)		言語活動					配当 時間	学校の授業以外の場での学習が可能で あると考えられる教材・学習活動
	レッスン	タイトル			文構造・文法事項 (☆サブ) / 表現	語彙・音声	パート	L	S	R	W	活動の内容			
11	LT4	玉子料理はいかがですか	人に食べ物や飲み物をていねいにすすめる会話をする ことができる。	◆食事 ▲食べ物や飲み物をていねいにすすめる・ 承諾する・断る	Would you like ~?	—									◆ p.83の本文は、新出語句の意味を調べ 本文の 概要を把握する。【本文訳は後日配布】 ◆ p.83のExercise 1, 2は、どのような対話にな るかを、例にならって書く。【要対話例】 [1時間]
	P2	日本文化を紹介しよう	自国の文化についての文を書き、Show & Tell で紹介す ることができる。	◆日本文化紹介	—	—									
12	FS2	教科書の外で英語に触れよう	—	—	—	—									◆ p.86の教科書の外で英語に触れようは、解説 を参照しながら、英語の学び方を知る。 [1時間]
	L7	English for Me	●関心・意欲・態度：英語と自分とのかかわりについて 考えることができる。 ●言語・文化：want + A + to ~ や間接疑問文の形を 理解し、使うことができる。 ●読むこと (USE Read)：“English for Me” という テーマについての意見文を読むことができる。 ●話すこと (USE Speak 会話)：会話を始めたり終えたり することができる。	◆英語を学ぶ意義【ことば／学び】 ・実社会の中で英語を使うことについて関 心を高める。 ・実社会の中で多様な英語とのかかわり 方について知る。 ・自分の英語学習をふりかえり、英語およ び外国語と自分とのかかわりについて考 える。	【GET】 Part 1: want + A + to ～ Part 2: 間接疑問 (why な ど)	【Word Bank】 Part 1: 人に働き かけることば Part 2: これから の人生	GET	●	●	●	●	【読む】新聞の投稿記事を読んで、その要点を読 み取る。 【聞く】— 【話す】会話を始めたり、話題を変えたり、終わ らせる。 【書く】—	4	◆ p.98の文法のまとめは、解説を参照しながら、 Lesson 7の既習事項を振り返る。 ◆ p.98のSoundsは、音声聞きながら、取り組 む。【要音源】 [1時間]	
							USE Read			●	3				
USE Write								●	2						
1	LT5	電話をしよう	人にていねいに依頼する電話での会話をする ことができる。	◆電話での応答 ▲ていねいに依頼する・承諾する・確認す る（・約束する）	Could you ~?	—									◆ p.99の本文は、新出語句の意味を調べ 本文の 概要を把握する。【本文訳は後日配布】 ◆ p.99のExercise 1, 2は、どのような対話にな るかを、例にならって書く。【要対話例】 [1時間]
	LL6	英語の歌	英語の歌を聞いて、歌い手が伝えたいことを聞き取る ことができる。	◆歌	—	—									◆ p.100のListeningは、音声聞きながら、取 り組む【要音源・著作権注意】 [1時間]
	P3	ディスカッションをしよう	友達と city life がよいか country life がよいかなどの話 題について話し合うことができる。	◆ディスカッション	—	—									
2	LR2	We Can Change Our World	マラウイの少年の人物伝を読むことができる。	●創意工夫・社会貢献【学び】 ・一人ひとりができる社会貢献について関 心を高める。 ・創意工夫で身近なことから社会貢献でき ることを知る。 ・自分自身ができる社会貢献について考 える。	—	—									◆ pp.104-107の本文は、新出語句の意味を調べ 本文の概要を把握する。【本文訳は後日配布】 [4時間]

指導内容一覧 3年

月	箇所		この課のねらい	●題材【領域】と題材のねらい ◆場面 ▲はたらき	言語材料(1)	言語材料(2)	言語活動						配当 時間			
	レッスン	タイトル			文構造・文法事項 (☆サブ) / 表現	語彙・音声	パート	L	S	R	W	活動の内容				
2	LR3	The Story of Nishikori Kei	錦織圭選手のエッセーを読むことができる。	●人物理解【人間・社会】 ・スポーツなどで成功した人の生きざまに関心を高める。 ・スポーツなどで成功した人が何を考え、何をしてきたかを知る。 ・自分の生き方について考える。	—	—							●		【読む】 人物伝を読んで、その概要を読み取る。 【聞く】 — 【話す】 — 【書く】 —	4

合計 93 時間

学校の授業以外の場での学習が可能であるとえられる教材・学習活動

◆ pp.108-111の本文は、新出語句の意味を調べ本文の概要を把握する。【本文訳は後日配布】

[4 時間]

[合計 35/93 時間]